

# 防災会からのお知らせ

## 防災まちづくり研修会 及び内閣総理大臣表彰と総務大臣賞の 受賞祝賀会を開催しました



11月23日(木・祝)  
16時から加古川プラザ  
ホテルに於いて、防災ま  
ちづくり研修会、及び内  
閣総理大臣表彰と総務大  
臣賞受賞の祝賀会を、県  
内外から約100名の

方々にご参加いただき、グリーンシティ防災会実践発表、講演会などを開催しました。

来賓には、東田雅俊防災監(兵庫県) 杉原隆光理事官(総務省消防庁) 釜谷研造兵庫県議会議員、山本敏信兵庫県議会議員、山田一成県民局長(東播磨県民局) 元治正明災害対策局長(兵庫県)をお迎えし、ご祝辞を皆様から頂戴いたしました。そして、室崎益輝先生(総務省消防庁消防大学校消防研究センター所長) 小村隆史先生(富士常葉大学防災学部助教授) 吉村秀實先生(防災ジャーナリスト)にはご講演を賜りました。

東田防災監「阪神淡路大震災から多くの教訓を学んだ。そのなかでもコミュニティの防災力が一番大切だとあらためて教えられ、自分たちのまちは自分たちで守るんだという防災の原点に返ったまちづくりが今求められている。更に活動内容を高め、全国の自主防災組織のモデルとして、みんながグリーンシティを目指す目標として育ててほしい。」



杉原理事官「内閣総理大臣表彰にあまんじることなく、遊び心を持ちながら一から始める気持ちで頑張ってもらいたい。」

釜谷県議「ひとつの小さな自主防災組織が二つのこんな大きな賞を取っている。本当に素晴らしいことだ。この活動を日本中に発信してほしい。」

山本県議「加古川グリーンシティ防災会は自主防災の手本であり、更なる安全で安心の住みよいまちづくりにまい進してほしい。」

山田県民局長「東播磨県民局としても素晴らしい誇りであり、加古川グリーンシティ防災会の取り組みが全世界に広がってほしい。」



元治災害対策局長「ひとりでは生きていけない。みんなで助け合わなければならない。安全安心の共助意識をもった共同体の活動がここにある。」



また、ご講演いただきました先生方からは以下のようなお言葉を頂戴しました。



室崎益輝先生「日本中にこの活動を発信してほしい。ここには日本中で一番進んだハイテクの防災まちづくりがある。」

小村隆史先生「ようやく時代が加古川グリーンシティに追いついてきた。今後は自然の摂理に基づく防災を行い、次世代につながるまちづくりをしてほしい。」



吉村秀實先生「何事にも楽しさをキーワードにし、現在の組織をもっと幅を広げ、男女や世代を問わず多くの人たちを採り入れてほしい。」

と激励をいただき、次のステップへ踏み出すための勇気を皆様から頂戴しました。

来賓の方々、各先生方の言葉を胸に、次の10年に向けた加古川グリーンシティのまちづくりを行っていきたく思いますので、みなさまの更なるご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、研修会に於いて2名の表彰式を行いました。まず、先日ゴミ収集車の火災で初期消火を行い火災の拡散防止に努められた壺貫田さんと、加古川グリーンシティの未来につながる青少年育成にご尽力された森さんにそれぞれ感謝状を贈呈いたしました。

楽しくなければ防災の輪は広がらない「楽しく防災活動をやるう」というテーマで今後も多彩なアイデアを仕掛けながら継続可能なチームづくりに努めていきますので、みなさまご協力よろしくお願ひします。

